



高橋 弘行 (改革・創生の会)

議会中に議員と市幹部の懇親会と資源リサイクル住民監査請求結果

議員と市幹部の懇親会
 問 私は、12月議会中に議員と市幹部が宴席を交わし、ましてコンパニオンを入れていたことを問題とした。しかし、議員からは、今までやってきたから、これまで何も言われていないとのこと。私は、これでは市民が不信に思っているので、この問題を取り上げた。市の幹部が出席する必要があるのか。また、市長はこのような宴席は問題ないと考えているのか。

業務委託に関する住民監査請求について
 問 過日、11月25日住民より監査請求が出され、その結果として、内容は認めなかったものの、市長に対する意見が付記された。要望意見は2点あり、1点目は、資源再生物の処分方法の見直し。2点目は、委託料の予定価格、設計積算の検証である。これに対する市の対応と監査委員の見解を聞きたい。

答 必要性そのものはない。しかし、勤務時間外に開催され、本人の判断により自ら会費を払って参加しているもので問題はないと思っている。このようなことでなれ合いになることはない。なれ合いになつたら、私は自分自身でもやめるし、市の職員でも厳しく罰する。

答 市長より監査結果に基づき要望意見は強く受け止め、見直していきたいという力強い回答があった。監査委員としてもこの要望意見を尊重してもらい、より良い契約業務が執行されるよう期待している。

●行田市資源リサイクル

○台風19号水害被害
 ○水道料金12%値上げ
 ○行田市新ごみ処理施設

その他の主な質問



野本 翔平 (新政策研究会)

行田市の地球温暖化対策について

問 昨年の台風19号のような異常気象を引き起こす地球温暖化への対策が必要である。本市もゼロカーボンシティの表明をするべきではないか。

答 現時点では考えていない。実効性を見極めた上で県内の状況等も勘案しながら検討したい。

問 本市では今、多くの市民がごみに関心を持っている。ごみの問題は環境の問題であり、環境問題は世界の問題でもある。世界の環境のために何ができるのかを、私達も考えなければならぬ時代になった。市長には市のリーダーとして積極的に取り組んでもらいたい。

答 地球温暖化対策は大変重要であるが、ごみ処理については、どういった方法が良いのかこれからの段階であり、市民の利便性も十分考慮したい。本市も温暖化対策推進法に基づき実行計画の区域施策編を策定すべきではないか。

問 本市も温暖化対策推

進法に基づき実行計画の区域施策編を策定すべきではないか。
 答 県が策定した実行計画区域施策編に基づき、県と協力して取り組む。温室効果ガスの吸収源となる森林の整備のために昨年から始まった森林環境譲与税が国から本市へ配分されるが、これを活用し、荒川の源流がある秩父地域とカーボンオフセット事業を行うことはどうか。

その他の主な質問

○不妊・不育症治療費助成制度について
 ○障がいのある人たちの表現活動について



橋本 祐一 (みらい)

災害時に防災行政無線を放送する自動起動ラジオの導入

問 昨年の台風19号の際、防災無線を最大音量で放送したが、暴風雨のために、聞こえない、聞き取りにくいという声を多くの市民より聞いた。その対策として、防災無線を流したときに自動でスイッチが入り、緊急時には最大音量に設定できる防災ラジオを導入すべきと考えるがどうか。

答 普段は通常のラジオとして使用し、災害時には自動起動する防災ラジオは、防災無線を戸別に受信できる機器の一つで、デジタル同報系防災行政無線の戸別受信機よりも安価なため、全国的に導入が進んでいるが、本市で導入するには課題もある。防災ラジオで放送する際には、現在のデジタル波からアナログ波に変換する必要があり、その際、ノイズが発生し聞き取りにくくなる恐れがある。

問 本市では他に対策があるのか。

答 単身の高齢者で携帯もなく情報が入っていないという方を対象に、希望者には電話番号を登録してもらい、防災行政無線の内容を一齐に配信する事業を行う予定である。また、無料で防災行政無線を聞くことのできる電話があるが、その回線を3回線から10回線に増やすことを考えている。

その他の主な質問

○チャレンジショップ
 ○まちなか憩いの広場
 ○電気自動車急速充電器

問 防災無線を最大音量で放送したが、暴風雨のために、聞こえない、聞き取りにくいという声を多くの市民より聞いた。その対策として、防災無線を流したときに自動でスイッチが入り、緊急時には最大音量に設定できる防災ラジオを導入すべきと考えるがどうか。

問 普段は通常のラジオとして使用し、災害時には自動起動する防災ラジオは、防災無線を戸別に受信できる機器の一つで、デジタル同報系防災行政無線の戸別受信機よりも安価なため、全国的に導入が進んでいるが、本市で導入するには課題もある。防災ラジオで放送する際には、現在のデジタル波からアナログ波に変換する必要があり、その際、ノイズが発生し聞き取りにくくなる恐れがある。